

医療福祉建築賞 2022 募集要項【再掲】

主催 一般社団法人日本医療福祉建築協会
後援 厚生労働省

一般社団法人日本医療福祉建築協会では、1991年に厚生省（当時）の後援を得て「病院建築賞」を創設し、1995年より名称を「医療福祉建築賞」と改めて、医療福祉建築の顕彰事業を実施しております。

賞は、近年竣工した医療・福祉施設及び保健施設のうち、応募のあったものの中から選ぶことになります。下記の要項に沿って、ふるってご応募くださるようご案内致します。

1. 趣旨

医療福祉建築賞は優れた医療福祉建築を顕彰し、それを広く世に知らせることによって、これら施設の質の向上をはかることを目的として定めるものである。

優れた医療福祉建築とは、建築として質が高いことに加えて、利用者ならびに職員にとって快適で使い勝手がよいことを条件とする。すなわち中身と器が調和し、いずれにおいても優れていることを意味するものとする。

2. 顕彰

「医療福祉建築賞」若干点に対して、賞状・賞牌・銘板が贈られる。また、企画、特定の部門計画、工事技術などが特に優れている応募案があった際には、選考委員会でその内容を検討し若干点に対して「医療福祉建築賞 準賞」として、賞状・賞牌が贈られる。

3. 対象

顕彰の対象となる施設は、2017年（平成29年）4月1日から2021年（令和3年）3月31日までの4年間に日本国内において新築、増改築または改修を行なった医療・福祉・保健施設ならびにその関連施設とする。

上記条件に合致する限りにおいて、前回に応募し選外となった作品の応募もさしつかえない。

なお、2020年の募集が中止されたことにより、応募対象となる期間を変更している（通常の3年間で医療福祉建築賞2020の中止に伴い、対象期間を1年延長）。

4. 応募資格

応募者は、当該施設の開設者または管理者、設計者のどちらでもよい。ただし、選考委員または委員の所属する組織が計画・設計・運営に関与している施設は応募できない（当該施設は委員の任期終了後に応募することができる）。

5. 選考のための提出資料

- (1) 所定の応募申込書ならびに建築概要書
- (2) 設計主旨
- (3) 図面 配置図・平面図・断面図など、大きさはA3判。
- (4) 写真 15葉程度とし、周辺環境がわかるものを含むこと。また、室内については家具・機器等が設置されていること。大きさは任意。

上記(1)～(4)をA3判クリアファイル1冊におさめて提出のこと。なお、それらを1つのファイルにまとめてPDF化しCD等に収めたデータを同時に提出のこと。保存時にデータサイズの縮小を心がけること。

ただし、本国会誌『医療福祉建築』に作品全体が紹介された

ものについては、(2)～(4)の一部について当該誌の提出をもってこれに替えることができる。この場合でも『医療福祉建築』に掲載分も含めてデータを提出のこと。

6. 応募期日

2022年8月18日から同年8月31日まで。当日消印有効。

7. 提出先

一般社団法人 日本医療福祉建築協会
住所 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
電話 03-3453-9904 FAX 03-3453-7573

8. 応募料

応募者は1作品につき66,000円（税込）を応募料として応募時に納入する。

9. 選考

選考は、以下の委員で構成される選考委員会によって「趣旨」に沿った判断にもとづいて行なう。なお、選考過程で必要に応じて現地調査を行なう。また、必要に応じて特別委員をおくことができる。

- 委員長 岡本 和彦（東洋大学 理工学部 教授）
委員 秋山 正子（認定NPO法人「アース」東京共同代表理事）
委員 河合 慎介（京都府立大学 大学院生命環境科学研究科 教授）
委員 小松本 悟（足利赤十字病院 名誉院長）
委員 鳥山 亜紀（清水建設設計本部プリンシパル）
委員 南部谷 真（公益財団法人神経研究所 企画室長）
委員 山口健太郎（近畿大学 建築学部 教授）

10. 公表

選考の結果は2023年3月末日までに応募者に通知するとともに、別途本国会誌に公表する。

11. 提出資料の取扱い

応募のために提出した資料は返却する。また、本協会がこの事業の趣旨に則して提出資料を会誌に掲載、さらに図書の出版、または展示などのために用いる場合、受賞者は無償でその使用を認めることとする。なお、その際写真撮影者の記載を必要とする場合は、あらかじめ応募の際に明記する。

12. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる特記

- (1) 原則的には、コロナ禍での現地審査*の実施を含めてご理解とご了解、ご協力をいただいた上での応募をお願いする。
- (2) 現地審査を行う際には、当該施設の新型コロナウイルス感染症予防対策に準拠するとともに、委員は万全の感染予防対策を講じたうえで訪問・実施する。
- (3) （当協会の判断による顕彰事業の中止）全国的に感染が拡大する状況や、緊急事態宣言等発令により現地審査の実施ができないなど、審査に重大な影響を及ぼす事象が生じた場合、当協会が判断した場合、今年度の顕彰事業を中止とすることがある。この場合は応募料を返金するとともに、23年

- 度に応募対象期間外であっても再度応募することができる。
- (4) (応募者の事情による選考辞退) 応募者の事情により現地審査が実施できない場合は、選考辞退として扱い選考対象から除外される。なお、この場合、応募料は返金しないが、23年度に応募対象期間外であっても再度応募することができる。
- (5) このほか突発的な事態が発生した際には、応募者と当協会とが個別に協議し判断する場合がある。

*現地審査：書類選考を通過した作品に対して、10～1月にかけて行われるものです。

応募書類はwebでダウンロードできます。 <https://www.jiha.jp>

※本賞に関するお問合せはメールにてお受けします。 E-mail:office(at)jiha.jp

(at)は@に置き換えてください。

医療福祉建築フォーラム 2022 開催案内【再掲】

本協会では毎年、医療福祉建築に関する研究・計画・設計者と他分野の方々が、ともに学び、考える場として、医療福祉建築フォーラムを2日にわたり開催しています。Zoom ウェビナーを利用した Web 配信（ライブ）にて開催いたします。

本年度は、医療分野でのデータサイエンスの実践、テクノロジーが実現する医療福祉の現場、病院再編の実際、ホスピタルアート、照明デザインなどについて考え、これからの医療福祉建築像を展望する講演を企画しております。また恒例の事業者と設計者による対談は今年は福祉施設を取り上げ、「病棟計画とスタッフ空間」として看護師の方によるシンポジウムも企画しております。

皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。プログラムは2頁をご覧ください。

Web 配信による本フォーラムの特徴

- 遠方の方でも参加がしやすい：旅費が不要で参加費のみで受講が可能です。
- 講師と参加者の双方向性の確保：Q&A にて講演中や終了後に質問を受け付けます。
- 後日見逃し配信：指定された日にオンデマンドで当日の講演内容を視聴できます。
- A会員（法人会員）向け割引：2名以上で参加の場合の特別価格を設定しています。

記

会 期 2022年9月12日(月)・13日(火)

会 場 Web 配信（ライブ）

配信環境 Zoom ウェビナー

※スマートフォン、タブレットで視聴の場合、Zoom アプリのインストールが必要です。

定 員 200名

申込締切 9月7日(水) 17時迄（最終支払期限：9月7日(水) 中）

参加費 一般 45,100円、JIHa 会員 23,100円(税込) (A会員の追加参加者1名につき 16,170円)
 ※A会員で複数の参加者がいる場合、2人目からは追加参加者価格となります。その場合、申込人数分のアカウントを発行し、テキスト(PDF)も人数分配布します。
 ※参加費に別途システム利用料 220円(税込) /人をご負担いただきます。

申し込み 1) 下記 URL よりお申し込み下さい。(イベントペイについて：詳細3頁目)

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=0610834174919284&EventCode=3561234889

2) キャンセルについて

- コンビニ・ペイジーでの支払いの場合、期日までに支払が確認されない際は自動キャンセルとなります。
- 入金後のキャンセルはできません。

3) Zoom 接続用 URL および資料は、受講者の E-Mail アドレスにお送りします。

見逃し配信 フォーラム終了後、見逃し配信を行います。(予定：9月16日(金)～26日(月))

プログラムごとに聴講していただけますので、ネットワークの不調、離席などで聴講できなかった部分を補完いただく機会としてご利用ください。なお、見逃し配信の聴講は建築 CPD、医業経営コンサルタント協会の登録の対象とはなりませんので、ご注意ください。

医療福祉建築フォーラム 2022 プログラム

会期：2022年9月12日(月)・13日(火)

第1日 9月12日(月) 9:00 開場

9:30-9:35	会長あいさつ 山下 哲郎 (一般社団法人 日本医療福祉建築協会 会長)
9:35-10:45	講演：BIGデータの活用 講師：藤森 研司 (東北大学 大学院医学系研究科 医療管理学分野 教授)
11:00-12:00	講演：医療機関のDX推進 講師：藤川 敏行 (倉敷中央病院 情報システム部 部長)
13:00-14:00	講演：こころのケアに配慮した空間づくり 講師：梅澤 ひとみ (環境カラリスト/桑沢デザイン研究所 非常勤講師)
14:15-15:15	講演：病院の照明、再考 講師：手塚 昌宏 (ヘルスケア照明デザイン研究所 代表)
15:30-17:00	対談：地域共生社会の実現に向けた「かがやきロッジ」から「かがやきキャンプ」への展開～福祉の現場と設計～ 講師：市橋 亮一 (医療法人かがやき 理事長) 安宅 研太郎 (パトミック 代表/東京芸術大学 非常勤講師) ファシリテーター：大谷 匠 (医療法人医王寺会地域未来企画室・看護師/ オムニヒール・コンサルタント/福祉と建築・代表)

第2日 9月13日(火) 9:00 開場

9:30-10:30	講演：介護現場のデジタル化 講師：宮本 隆史 (社会福祉法人善光会 最高執行責任者 兼 統括施設局長) (予定)
10:45-12:00	講演：IoT、ロボット、AI… テクノロジーが実現する未来の医療現場 講師：大高 洋平 (藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学 I 講座 主任教授)
13:00-14:00	リレー講演 病院の再編 講演：公立病院と民間病院の再編と機能連携 (仮) 講師：大西 祥男 (地方独立行政法人加古川市民病院機構 理事長)
14:15-15:15	リレー講演 病院の再編 講演：病院の統合と地域医療再興 (仮) 講師：西崎 朗 (兵庫県立丹波医療センター 病院長)
15:30-17:00	シンポジウム：病棟計画とスタッフ空間 講師：梅田光代 (慶應義塾大学病院 看護部) 町 和子 (島田市立総合医療センター 看護副部長) ファシリテーター：渡辺 玲奈 (竹中工務店 医療福祉・教育本部 専任課長)

(敬称略)

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修：11.0時間 (予定)

建築CPD (継続能力/職能開発) 情報提供制度認定プログラム (予定)

*敬称略、タイトル・講師は変更されることがあります

※本フォーラムに関するお問合せは、メールにて事務局 (office(at)jiha.jp) 宛にお願いします。
(at)は@に置き換えてください。

Web 決済システム「イベントペイ」の導入について

月例事業、及び講座、フォーラムの参加申込みや参加費の支払いを Web 上で受付、管理できる決済システム「イベントペイ」を導入いたしました。

なお、「イベントペイ」を利用しない事業を行う場合には、開催案内にその旨を記載いたします。

「イベントペイ」による参加申込み等については下記をご確認ください。

1. 受講費支払方法について

①クレジットカード決済（現在使用不可） ②コンビニ決済 ③ペイジー決済（簡単銀行決済）よりご選択いただけます。②、③のお支払期限は申込日＋7日間または最終支払期限のいずれか短い方となります。

2. 請求書発行について

「イベントペイ」により受付をする事業については、原則として請求書の発行はいたしません。勤務先等へのお手続きには領収書をご利用ください。ご理解の上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

3. 支払期限について

受講費支払期限は原則として「申込締切日まで」となります。支払期限までに入金がない場合、自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。申込締切日直前にお申込みの場合、お支払い期限までの日数が少なくなりますので、余裕を持ってお申し込みください。

※資料の送付はお支払い確認後となります。

4. システム利用料について

事業の参加費とは別に、システム利用料 220 円（税込）／人を参加者にご負担いただきます。

5. 領収書発行について

領収書は決済完了メールに記載の URL より、参加者ご自身で取得いただけます。

一般社団法人 日本医療福祉建築協会 事務局